

社会「米作りのさかな地域」

社会科の学習で米作りについて学びます。古川小学校では田中さんにもち米作りについて指導していただいています。5月1日、田中さんのハウスで「種もみまき」が行われました。みんなが育てるお米の苗です。臨時休校中だったので、先生たちだけで見学させていただきました。種もみまきについて田中さんに教えていただいたことをまとめました。



みんなが育てる「もち米」の種類は「ひだもち」です。粘りがあり、稲の背が高いのが特ちょうです。きねつき用に適しているそうです。「もみ」が「苗」に成長するまでに、たくさんの工夫と作業があることが分かりました。

「種もみまきから芽が成長するまで」

①種もみを水につける。(芽が出やすくするため)

- ・「催芽機」という水そうのような機械に3日～4日つける。
- ・もみが腐らないよう、消毒水につける。
- ・3日～4日たったら、脱水する。(この時、すでに白い細い芽が出ています)



②種もみを箱にまく。

(全部、機械化されている。あっという間に一箱出来上がる)

- ・機械によって土まきから、種もみまきまですべてスムーズに行われる。
- ・箱に土を入れる。→土を平らにして、水をまく。
- ・①の種もみを均等にまく。
- ・土をかぶせる。

※一日に、1200箱も種もみをまきます。

※全部で15000箱も種もみをまくそうです。



もみから芽が出ていることが分かるね。
このもみを土にまきます。



箱に土をしき、肥料をまく。その上から、温水をかける。

機械でたねもみをまいている。

③種もみを温めて早く成長させる。

- ・1200個、箱を積み重ねる。
- ・お湯をじゅんかんさせて温める。



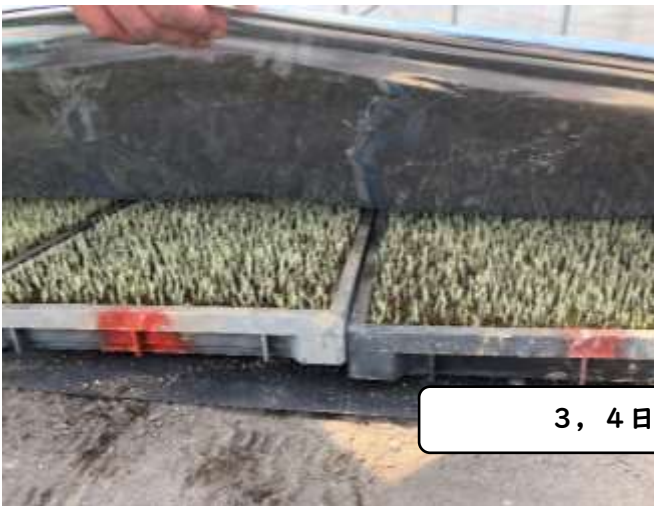
↑箱の下をお湯がじゅんかんします。



箱を積み重ねてお湯がじゅんかんするハウスにいれる。

④ビニルハウスに移し、さらに成長させる。

- ・銀シートをかぶせ、早く成長させる。
- ・約2週間で根がはり、15 cm～20 cmのなえに成長する。
- ・水の管理がとても大事。(腐ったり、枯れたりする)



3, 4日後のなえ。



⑤銀シートを取り、さらに成長させる。

- ・ビニルハウスの中で、さらに大きく育てる。
- ・約2週間で田植えができるまでに成長する。



約2週間後のなえ。



しっかりと根がはっています。